



2022年10月10日発行
認定NPO法人 盛岡YMCA
〒020-0021
盛岡市中央通 3-7-18
ラ・ベルヴィ中央 201
Tel 019-623-1575
Fax 019-623-1579
www.moriokaymca.org
発行人 / 澤塚 有史
編集 / 本部事務局

YMCA News

10



【国際協力】世界をみつめる。



今回は、大阪YMCAグローバル事業推進室室長のドミニク・パンクラッシオさんより、ご出身でもある、オーストラリアに関するお話を頂きました。是非ご一読ください。

オーストラリアと先住民の闘い

2,570万人が暮らすオーストラリアは、多様な野生動物、広大な風景、そして民族が暮らす広大な大陸です。過去230年の歴史は、イギリスの植民地化、そしてヨーロッパ、アジア、最近ではアフリカからの移民の波によって形作られてきました。イタリア、オランダ、イギリスの血を引くオーストラリア人として、私はビクトリア州の郊外で育った少年時代から、多文化主義や多様性が現代のオーストラリアという国を定義していることを強く意識していました。しかし、オーストラリアには、世界で最も長く存続している継続的な文化、アボリジニとトレス海峡諸島民の故郷もあるのですが、その当時はあまり知らず意識していませんでした。「ファースト・ネーションズ・ピープル」とも呼ばれる彼らは、土地、季節、そして6万年以上にわたる「ドリームタイム」という創造神話に強く結びついた豊かで活気に満ちた先住民の文化を共有し、360の言語と500の部族に分かれて暮らしています。1980年代から90年代にかけての学校では、私たちはこのことをほとんど学びませんでした。しかし、近年は変化しつつあります。

植民地主義は、現在のオーストラリアの民主的な政治体制と強力な経済基盤をもたらした一方で、先住民を強制的に土地から追い出したり、「盗まれた世代」やタスマニアでの大虐殺など、暗い遺産も持っています。オーストラリア人にとって、自分たちの歴史のこの部分を認め、償うことは困難なことでした。しかし、現在のオーストラリア社会では、非常に重要な議論が行われています。オーストラリアのアイデンティティと政治状況の変化とともに、オーストラリアはファースト・ネーションズ・ピープルとの過去の不正に対する和解と癒しのための長い

盛岡YMCAの使命

私たち、盛岡YMCAは、イエス・キリストによって示された生き方に学びつつ、豊かな自然と歴史的伝統に満ちた岩手の地で、こども、家族、地域とともに公正で平和な世界の実現を目指します。

1. こどもたちの個性を大切に、それぞれの夢や希望、生きる力を育みます。
2. 家族の絆といのちの大切さを深め合います。
3. 共に生きるために、異なった文化、多様な価値観と出会う場を提供します。

プロセスに取り組んできました。YMCAは、地域や世界の市民として差別に対して闘い、コミュニティに平和をもたらすことを奨励しています。ですから、オーストラリアのYMCAが、公式行事の際に、オーストラリア先住民の歴史や土地とのつながりを積極的に認め、YMCAのメッセージを共有していることは、喜ばしいことです。大阪YMCAとの会議でも会議の始めにメッセージを読み上げます。2022年9月には、オーストラリア政府の後押しを受けて、オーストラリア憲法を改正し、アボリジニとトレス海峡諸島民が将来の政策を形成する力を持ち、国づくりと和解の次のステップに進めるように、議会への先住民の「声」を与えるキャンペーンが開始されました。これにより、オーストラリア先住民は、「アボリジニおよびトレス海峡諸島民の声」と呼ばれる独自の政治団体を通じて、アボリジニおよびトレス海峡諸島民に関する事項について議会および行政府に意見を述べるできるようになります。さらに議会は、この憲法に従い、アボリジニ・トレス海峡諸島民の声の構成、機能、権限、手続きに関して法律を制定する権限を持つものとします。多くの人々は、オーストラリアの先住民と連邦の間の公式な条約とともに、これを国家のアイデンティティの進化に必要なステップであるとみなしています。

2023年には、オーストラリア国民は、これらの憲法改正を支持するかどうかを国民投票で問われることになります。オーストラリア国民がどのような決定を下すにせよ、オーストラリアを訪れる人々には、オーストラリアの美しい観光地、繁栄する都市、雄大な環境とともに、先住民による政治的権利、尊厳、文化の一体性を取り戻すための闘いが続いていることを理解してもらうことが重要です。YMCAグローバルコミュニティの一員として、私たちは不正によって権利を奪われた少数民族の声を上げる活動を続けなければなりませんので、オーストラリアに来られた方やオーストラリアに興味を持たれた方は、ぜひ先住民の歴史について学んでください。

大阪YMCAグローバル事業推進室室長

ドミニク・パンクラッシオ

リーダーキャンプ報告

4 質の高い教育を
みんなに



9月10日、11日の一泊二日、都南つどいの森にて参加リーダー23名でリーダーキャンプを実施しました。移動中のバス内では、初対面どうしのリーダーもいたため、自己紹介をしながら過ごしました。リーダーの隠れた一面が見えることもあり、かなり盛り上がりました。会場に着いてからは自分たちでテントを設営し、その後は夕食の時間まで自由に遊ぶ時間をとりました。リーダーが持参した水風船や水鉄砲を使って、水遊びを楽しんでいるリーダーが多くいました。

夕食には肉や野菜をたくさん用意して、バーベキューをしました。加えて、ワイズメンズクラブの加藤さんが豆ご飯を、長岡さんが焼きそばを用意してくださり、とても豪華な夕食になりました。

夜にはキャンプファイヤーを行いました。歌を歌ったり、猛獣狩りなどの定番のゲームを行ったりしながら、燃え上がる火とともにリーダーたちも盛り上がり



ました。子どもたちと一緒にやるキャンプでもキャンプファイヤーを行う機会は少ないので、リーダーたちも楽しんでいました。

2日目、朝食準備の時間に早起きしてきたリーダーは、まだ寝ているリーダーを起こす遊びをしながら、早朝から賑やかに過ごしていました。会場を出るまでは、リーダーたちで相撲をとり、普段見られない一面が表れることもあって全員がとても盛り上がりしていました。

今回のキャンプはバスやキャンプファイヤーなどの時間をおしてリーダーたちが交流し、関係性を構築していく良いきっかけになったのではないかと感じています。これを機にもっと多くのリーダーと活動していければと思います。

岩手大学4年 星野太志(ゲンリーダー)



8月 ちきゅうと、あそぼう。～活動報告～

4 質の高い教育を
みんなに



今回の野外活動は8月25日(日)に、盛岡市内を盛岡都心循環バスの「でんでん虫」を利用して巡る「でんでん虫ツアー」を行いました。連日続いた雨によって川遊びの予定を変更した活動となりましたが、子どもたちは路線バスに乗れることにわくわくした様子で出発しました。

町探検プログラムは、でんでん虫フリー乗車券を使ってグループごとに好きな停留所で乗り降りし、道中で見つけた発見をボードに書き込んでいくといった内容でした。出発直後は、ボードに頭を寄せ合って「ここで降りてみよう!」と話し合う様子が見られました。バスの中では公共マナーを意識しながら、バスから見えたものを教え合ったり、降車ボタンを誰が押すかを決

めたりと、バスならではの楽しみ方を見つけました。降車後は、面白い建造物や看板、植物等を見つけるとはその感動を共有していました。

中央センターにてお昼を食べたあとは、他グループとボードを交換し、そこに書かれた様々な発見を見つけに再出発しました。ボードに書かれたものをみつけ嬉しそうに友達やリーダーに教えたり、新たに生き物等の発見に興奮したりする姿が見られました。プログラム終了時刻が近づくと、手持ちのバスの時刻表を見て、「もうバス来ちゃう!」と急いでバス停に向かうグループもありました。

全員が盛岡駅に帰ってきてからは「まだ乗りたかった!」という子どもたちも多く、公共の路線バスを利用する初めての活動として充実した一日を過ごすことができました。



岩手県立大学
4年生
佐久間千夏
(ピンポンリーダー)

『国際協力募金案内』

10 人や団の不平等をなくそう



YMCAの国際協力募金活動は全国のYMCAで毎年実施しており、昨年度、盛岡YMCAには290,267円の募金が寄せられました。募金にご協力下さった皆様を始め、募金箱の設置、及びポスター掲示にご協力下さった地域の諸団体の皆様には心より感謝しております。

また、今年度はウクライナ支援のための募金活動を行っており、8月31日までに頂いた募金は325,168円となりました。募金にご協力下さった皆様、本当に有難うございます。頂いた募金は、日本YMCA同盟を通して以下の通り使用させて頂く予定です。



【ウクライナ支援募金使途】

- (1)日本のYMCAとヨーロッパ諸国のYMCAが連携し、日本への避難を希望するウクライナの方、ご家族等の呼び寄せを希望される日本の方に、出国から来日までのトータルなサポートとケアを実施するために用います。
- (2)ウクライナYMCAが行う、爆撃地や攻撃を受ける可能性のある居住地域から国内避難する人々への支援活動のために用います。
- (3)ウクライナ近隣諸国のYMCAが行う、国外に避難するウクライナの人びとへの緊急生活支援のために用います。

盛岡YMCAでは、2022年11月1日～2023年2月28日まで

の4ヶ月間を、改めて国際協力募金期間とし活動を行います。この期間に頂いた募金は、日本YMCA同盟を通じて、ウクライナ避難者支援、アジア地域の子どもたちの支援、パレスチナ支援、ユース育成等のために使わせて頂く予定です。国際協力募金活動へのご理解とご協力のほど、どうぞ宜しくお願い致します。

盛岡YMCA 国際協力募金 担当 小川嘉文



写真は、多くのアボリジニの聖地であり、集会所でもある「エアーズロック」の伝統的名称「ウルル」の前に立つアボリジニの狩猟家ハンター

盛岡YMCAインターナショナル・チャリティーラン

2022延期のご案内

17 パートナシップで目標を達成しよう



9月23日(金・祝)岩手県立大学敷地内にて「第4回盛岡YMCAインターナショナル・チャリティーラン2022」を開催する予定でしたが、新型コロナウイルスの感染拡大により3月に延期することとなりました。2020年、2021年はコロナ禍により中止となってしまい、チャリティーランの意義だけでなくチャリティーランの存在すら風化しかけていました。

だからこそ、今年度は延期という形で再スタートし、盛岡市や近郊地域に発信できたらと考えております。盛岡という地域柄、3月は「春」というにはまだ寒い時期で雪も残っています。そのため、屋内でのプログラムを含め、現在、実行委員会で退会形式を含め、準備をおこなっております。家族や友達など一緒に誰でも簡単に参加して楽しめる盛岡YMCAらしい活動になると思いますので、是非、ご参加お待ちしております。

既に各企業・団体様から物品等ご寄付をいただいておりますが、引き続き、3月に開催した際に参加者へ提供いたします。盛岡という地域でインターナショナル・チャリティーランをきっかけに少しずつでも障がいについて考えるという発信は私たちだけではなく、盛岡YMCAに関わる皆様や地域企業、各団体様のご協力なしでは実現できないことではありますので、何卒変わらぬお力添えの程、宜しくお願い致します。



盛岡YMCA
インターナショナル・
チャリティーラン
主担当
東森 聡

YMCA秋のサッカー大会

4 質の高い教育をみんなに



皆さん“秋”といえば何を思い浮かべますか？

【食欲の秋】【芸術の秋】【読書の秋】などなど...ですが、やっぱり秋といえば【運動の秋】ですね!ということで、YMCA秋のサッカー大会のお知らせです!!



○秋のサッカー大会って何ですか？

サッカーを通して、体を動かすことの「楽しさ」と、「できた!」という体験ができます!

○普段サッカースクールに通っていませんが参加できますか？

サッカースクールに通っていない子や、女の子も大歓迎です!たくさんのお友達やリーダーたちと楽しい時間を過ごしましょう!

また、幼児から高学年まで年齢や学年別にチームを組みますので、その子にあった楽しみ方ができます。

○大会の日時・場所はようになりますか？

11月3日(祝)10:00~13:00

岩手県宮運動公園第1グラウンド(人工芝)で行います。

○持ち物は何か必要ですか？

サッカーができる格好(運動ができる格好で大丈夫です)、水筒をお持ちください。

○参加費はいくらですか？

1人1,000円になります。

参加費は、後日月謝と合わせて引き落としをさせていただきます。

【お問い合わせ】

サッカー事業部主任 東森聡

TEL:080-3094-5916

higshimori@moriokaymca.org



ワイズメンズクラブを
ご存じですか？



ポジティブネットのある社会
共によくなっていく

居心地がいい場所があります。
喋る、動く、楽しくなる。
ワイズメンズクラブは、
YMCAと同じ思いで
活動しています。
SDGs アクションのために、
一緒になってぬくもりを
お届けしませんか？



盛岡YMCAリーダー紹介⑧

【こんぶ】



こんにちは!こんぶです!私は、本州最東端の地である宮古市出身で、美味しい海の幸をたくさん食べて育ちました。海が身近にある環境で育った私は、釣りをするのが大好きです。釣りといっても船釣りではなく、堤防の上で海を眺めながらまったりと釣りをするのが好きです。何も考えずにゆっくりと時間が過ぎていくので、忙しすぎて疲れている時や悩み事がある時に行くと良いリフレッシュになります。自然に癒やされたい方、疲れている方におすすめです!また、私は5歳頃から小学5年生までレスリングを習い、中学は部活でバレーボール、高校はボートと様々なスポーツをしてきました。特に中学、高校時代は友だちと遊んだ記憶があまり無いくらい毎日部活をしていました。初めて会った人からはよく文化部に間違われますが、実はバリバリの体育会系の運動部です!(笑)

そんな私は大学生になり、YMCAと出会いました。子どもと関わることが出来るという魅力に惹かれ、勇気を出して足を踏み入れた日から3年半が経ち、気付けば4年生になってしまいました。様々な思いを持った子どもたちや、自分にはない魅力を持った個性豊かなリーダー、経験豊富なスタッフさんから良い刺激を受けています。YMCAには面白い人がたくさんいるので、毎回活動に行くのがとても楽しいです。リーダーとして過ごすことが出来るのはあと少しですが、支えてくださっている方々に感謝をして最後まで全力で楽しみたいと思います!

盛岡大学文学部児童教育学科4年
村上詩織(こんぶ)

(2022年度9月新規会員) 敬称略

●2022年度 維持会員 大関靖二、濱塚有史

最新情報はこちらでチェックできます!「盛岡YMCA」で検索ください。



ホームページ



facebook



instagram

秋も深まり、一年で食べ物が一番美味しい季節になりました。食卓に秋の食材を取り入れ、贅沢な時間を過ごしたいですね。今しか食べられない秋の果物、新米、そしてこれから旬を迎える根菜をしっかりと味わいましょう!

今回のコラムは「噛む」をテーマに、子どもだけでなく、大人にも沢山良いことがあるとお話していきたいと思っております。

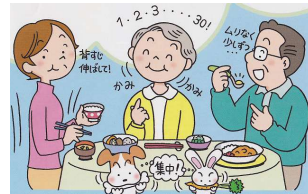
ここ数年、幼児期の子供たちの食事を見てみると、咀嚼力が弱く噛まずに飲み込む子や、口に物を入れたままモグモグし続けて飲み込めない子を多く見かけます。奥歯で噛まずに前歯で噛み続ける食べ方の子もいます。食べ方は、大きくなってから改善するのが難しい場合もあります。咀嚼力が弱くなっている原因のひとつとしては、現在の食生活で口に力を入れて噛む必要のある食べ物が少なくなったため、噛む回数が減り、咀嚼力が衰えていったと考えられています。そのため、あえて噛ませるためのメニューを提供して、子ども達に噛む事を意識してもらうことが必要だと感じています。

噛むことによって唾液の分泌がよくなり、消化を助け、胃腸への負担を和らげてくれます。唾液には、口腔内を清潔にする働きがあるので、虫歯や歯周病の予防にもつながります。噛むことで頭や顎の骨、顔の筋肉の発育を促し、表情豊かな顔を作る、脳の働きを活性化する、と言われています。また、固いものを噛み砕く爽快感がストレス解消にもなるとか。それ以外にもガンの予防や視力の低下予防にもつながるのでは、と注目されています。子どもと一緒に大人もよく噛む習慣を身につけたいですね。

では、よく噛むとは具体的にどれくらい噛むのかご存じでしょうか?

目安としては、一口30回。一度試してみると、大人でも30回噛んで食べ続けるのは難しく感じます。よく噛むための料理のコツとしては、かたまり肉を選ぶ、食材を少し大きめに切る、食物繊維の多い食材を選ぶなどの工夫をしてみると良いですね。料理全てではなく、一品だけに取り入れてみる、軟らかい物の中に食物繊維の多い食材を入れて、噛む事へ意識してみるのもいいですね。

秋には私達日本人にとって、主食であるお米が収穫されます。新米として食べられるのはほんのわずかな時期ですが、『新米』と呼ばれるのは、収穫された年の12月31日までとされています。新米は水分量が多く、柔らかくて粘り気があり、香りも抜群。そんな新米を家族でよく噛み、でんぷんの甘みを感じてみてはいかがでしょうか?



盛岡市内保育所調理師
ぶらいむ・たいむ
向中野校メンバー保護者
藤原 留美

表紙の
写真から



「ねえ、ねえリーダー。リーダーの指さす方向にはなにがあるの?」
「それは、希望さ!!」
……なんてことは言っていないと思うけど、いったい二人は何をみつけたのでしょうか?

ちきゅうとあそぼう9月活動 外山森林公園での1枚です。